

助成年度：平成 14 年度

[所属] 名古屋女子大学 家政学部
[役職] 教授
[氏名] 村上 哲生 (他計 3 名)

[課題]

長良川河口堰の環境影響に関する諸資料の収集・整理・保存と解析

[内容]

1994 年に完成し、河川の自然保護と利用についての議論を引き起こしてきた長良川河口堰の環境影響に関する論文を収集、整理、解析して次のことを明らかにした。①200 以上の論文が出版されているものの、独自の観測に基づくものは非常に少ないこと、②論文の出版数とその論文が対象とした環境影響に関する新聞記事数との間に関連が見られること、である。例えば、浮遊藻類発生による水質や底質の汚染についての記事は、それらに関する建設省や日本自然保護協会の報告書が発表された時期より増加し、一方、サツキマスについての記事は、議論の過程でなんら科学的情報が提供されなかったため、次第に減少した。本研究事例は、環境科学の情報が伝達、選択される過程に関する新しい分野を提供するものであると思われる。